



この NEWS は、中小企業者経営に「役立つ情報」を DBB(株)が各種情報ソースより厳選してお届けしています

■ 東北の半導体産業

東北は半導体産業の集積が進んでいる様です。では私達、小規模・零細企業にはどんなビジネスチャンスがあるのでしょうか。これがわかれば苦労しませんね。それでも考えなければチャンスは掴めないと思います。

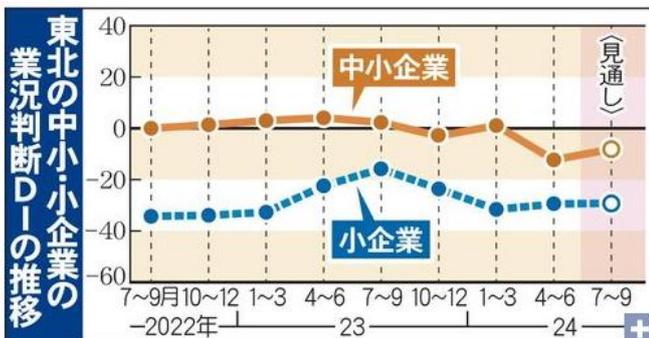
半導体は、基板材料（シリコン等）に様々な半導体製造装置と処理材（薬液やプロセスガス等）にて微細回路を形成し、完成後に切断・パッケージングして作ります。

半導体産業は、大雑把に言えば、(1)半導体自体を作る会社、(2)半導体製造装置を作る会社、(3)基板材料や薬液・プロセスガス等生産資材を作る会社に分けられると思います。

半導体の製造は、大きくは前工程・後工程等と言われ、シリコンウエハーが半導体になるまでには沢山の工程があります。使う設備も異なります。進出する企業と主要材料等で直接取引できる可能性は、ほぼゼロでしょう。しかし進出企業が進出先の「現地企業と取引したい」と思うアイテムは、様々にある筈です。生産用の治工具や燃料等は可能性があるかも知れません。一生懸命自社の可能性を考えましょう。

■ 企業活動動向

東北の中小景況は、2期ぶりに悪化（4～6月期）。基調判断は、上方修正。



日本政策金融公庫仙台支店は、4～6月期の東北の中小企業動向調査結果をまとめた。従業員20人以上の中小企業の景況感を示す業況判断指数（DI）は、前期比13・4ポイント悪化のマイナス12・3となっ

た。悪化は2期ぶり。来期以降はマイナス幅が縮小する見通しのため、基調判断は「弱い動きはみられるものの、先行きには持ち直しの兆しもみられる」に上方修正した。

身近で閉店する小売業も多く、実感として基調判断には違和感を持っています。皆さんは如何でしょう。

■ 事業承継

日本の中小企業が減り続けています。R05.12.13の中小企業庁発表によれば、2014年に380.9万社あった中小企業数は2021年には336.5万社となり、近年は毎年4.3万社減少しています。このため国は、事業承継を積極的に支援しています。

企業減少の理由は、様々です。結局は、「継ぐ人がいない」事が原因ですが、本音の理由としては（親）「苦しい自分の仕事を子にさせたいと思わない」、（子）「辛そうな親の仕事を継ぎたくない」です。反対に儲かっている企業には相続問題はあっても後継問題は無いと言われています。売上が上がって利益が出る、つまり健全な会社にする事で後継問題も解決します。

■ 事業継続力強化計画

事業継続力強化計画は、中小企業が策定した防災・減災の事前対策に関する計画を経済産業大臣が「事業継続力強化計画」として認定する制度です。中小企業向けの簡易なBCP(事業継続計画)と位置づけられます。認定を受けた中小企業は、税制措置や金融支援、補助金の加点などの支援策が受けられます。

詳しくはコチラ

<https://www.chusho.meti.go.jp/keiei/antei/bousai/keizokuryoku.html>

「事業継続力強化計画作成指針」や「事業継続力強化計画策定の手引き」などをご確認ください。

認定を受けると計画に基づく設備の導入に関しては特別償却が認められます。利益の出ている会社は、利益の圧縮が可能です。

■ 経営力向上計画

経営力向上計画は、中小企業が策定した経営力向上の

本 NEWS の配信をご希望の方は、件名に「NEWS 配信希望」と記載し、本文に必要事項(会社名、担当者名、メールアドレス、連絡先)を記載して、下記アドレス宛にメールして下さい。

【発行者】
 経営コンサルタント事務所
 ダイナミックビジネスブレイン株式会社

宮城県仙台市泉区将監殿 4-8-2
 info@dynamic-bb.com
<http://www.dynamic-bb.com>



この NEWS は、中小企業者経営に「役立つ情報」を DBB(株)が各種情報ソースより厳選してお届けしています

ための計画を経済産業大臣が「経営力向上計画」として認定する制度です。中小企業や中堅企業が行う経営力向上のための人材育成や財務管理、設備投資などの取組みに対して税制支援や金融支援が受けられます。詳しくはコチラ

<https://www.chusho.meti.go.jp/keiei/kyoka/>
 計画に基づいて導入した設備は、即時償却も可能です。利益の出ている会社は、利益の圧縮が可能です。

改善（生産技術関係）第2回

このコーナーでは、主にモノ作り企業で活用されている改善の考え方をご紹介します。おさらいの意味でご確認下さい。

5S	整理、整頓、清掃、清潔、躰
3定	定位、定品、定量
PDCA	Plan、Do、Check、Action
PQCDsME	生産、品質、コスト、納期、安全、モラル、環境

次回に続く。

中小企業政策の方向性

中小企業庁の中には様々な審議会や研究会があります。その中に「中小企業の成長経営の実現に向けた研究会」があり、その研究会が本年6月に「第2次中間報告書」を発表しています。要旨は以下の通りです。

- 1) 売上高 100 億円を中小企業の成長指標の 1 つにする。
- 2) 成長志向経営者を創出する。
- 3) 組織の総合的な能力向上に向けた人材確保・育成、組織体制構築を支援する。

上記は今後、順次政策になって現れてきます。解説してまいります。

経営お役立ちサイト

このコーナーでは、経営に役立つサイトをご紹介します。今回は、以下の4サイトです。

都道府県ランキングデータ

<https://uub.jp/pdr/>

経営自己診断システム（中小機構）

本 NEWS の配信をご希望の方は、件名に「NEWS 配信希望」と記載し、本文に必要事項(会社名、担当者名、メールアドレス、連絡先)を記載して、下記アドレス宛にメールして下さい。

【発行者】
 経営コンサルタント事務所
 ダイナミックビジネスブレイン株式会社

<https://k-sindan.smrj.go.jp/>
 地域経済分析システム (RESAS)
<https://resas.go.jp/#/13/13101>
 e-Stat (政府統計の総合窓口)
<https://www.e-stat.go.jp/>

支援組織の統合

8月末の新聞報道によれば、宮城県内の4JA（仙台、名取岩沼、岩沼市、みやぎ亘理）が2025年4月の合併に向けて動き出したとの事。これが実現すれば宮城県内のJAは7組合体制になります。漁業協同組合は、既に県内1組合となっています。それに対して商工業者を支援する商工会・商工会議所は、集約化が殆ど進んでいません。今後、必ず集約化が進むと思われます。

仏教を経営に活かす

今回は、八正道について簡単に説明します。八正道は、仏教の修業を行う際、わきまえる事として示されています。普段の生活や、経営に必要な事と思います。

- 1) 正見（正しい理解）
- 2) 正思惟（正しい目的、又は思考）
- 3) 正語（正しい言葉）
- 4) 正業（正しい行為）
- 5) 正命（正しい生業、又は仕事）
- 6) 正精進（正しい努力）
- 7) 正念（正しい気づき）
- 8) 正定（正しい集中）

興味のある方は、仏教系の書籍やネット等で、

編集者より

「ダメで元々」と「元も子も無くなる」新規取引先の開拓や、新製品の拡販は営業部門の重要な仕事ですね。上記は、私が若い頃、上司から良く言われた事です。

モトモト売上が無い客先なら、たとえ売込が失敗して受注がなくてモトモト。思い切って攻めよう。拡販を狙い、得意先に変な物を買込んで信用を落とせば元も子も無くなる。慎重に売り込もう。

宮城県仙台市泉区将監殿 4-8-2
 info@dynamic-bb.com
<http://www.dynamic-bb.com>